

宮城で大規模鶏舎の建設進む

たかくら

ウイング傘下で元請け受注が可能に

たかくら(兵庫県豊岡市、高倉卓男社長)は鶏舎専門の設計、施工会社で、現在、同社としては過去最大規模となる2×4木造鶏舎の建設を宮城県加美郡加美町で進めている。土地の造成から基礎工事、建物の施工まで一括で請け負えるのが特徴だが、これまででは与信力がなく、下請けで事業を展開してきた。4月に2×4コンポーネント大手であるウイング(東京都、倉田俊行社長)の子会社となったことで、元請けで仕事ができる体制が整った。

加美町の現場では、1万5000坪の敷地に約300坪(13・5×74m)の鶏舎を12棟建設する。ウイング常務でもある橋本幸たかくら会長は「鶏舎を一括で請け負える会社はほとんどなく、それだけでなく大きな強みだが、技術力、ノウハウでも他の追随を許さない」と語る。

鶏舎はスパン13・5mの屋根をトラスで受け、ひっくり返すのに手間がかかるが、材料はプレキャストで、現場で組立てる。トラスは4本1組で小屋を地組し、クレーンで吊り上げ、1500mmピッチで立てた3枚の合板を柱の間に落とし込んでいく。「トラスを1本ごとに吊り上げていくと不安定で



1万5,000坪の敷地に約300坪の鶏舎12棟を建設する

精度も出ないが、地組なら安全で、柱の位置に合わせて地組すれば、設計を単純化している。設計部長は20年近く鶏舎専門に設計してきた専門家(一級建築士)で、「通常は設計に現場が合わせるが、現場の声を聞いて設計しているため、無理、無駄がなく、合理化できている」(笹江部長)と胸を張る。

橋本会長はウイングの役員としてたかくらの子会社化に尽力したが、「工場生

る(同)。基礎も、1500mmピッチに合わせた特注の鋼製型枠で施工を合理化している。設計を手掛ける笹江学設計部長は20年近く鶏舎専門に設計してきた専門家(一級建築士)で、「通常は設計に現場が合わせるが、現場の声を聞いて設計しているため、無理、無駄がなく、合理化できている」(笹江部長)と胸を張る。

造作用集成材も

JAS製品

で

TSC株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

「材料を図面から追いかけるのではなく、材料メーカーの要望を聞いて設計に落とし込んでいく。一括請負を強みに設計、工法、材料調達に磨きをかけ、鶏舎だけでなく、工場、倉庫にまで受注を拡大していく」(橋本会長)。

日刊
木材
新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
eメール info@jfpj.co.jp
購読料 1ヵ月 6,750円
©日刊木材新聞社 2024
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

木材の枠を超えて
未来を築く

木材建材ウィワリー
Japan Lumber Reports
電子版

ミルフィウッド

Milfy Wood

3ミリの挽き板は
無垢を感じる
肌ざわり。

ミハマ通商

https://www.mihamatsusho.co.jp

主な記事

- ▽2面 2024年を振り返る「フレカット」盛り上がり続ける1年
- ▽3面 米材商況(丸太・国内挽き) 国内需要の停滞感根強く
- ▽4・5面 統計・指標 山・石巻地区森林組合・宮城県 持続可能な植林活動
- ▽7面 ウッドピア市売協 素材はない物高で越年